

コニコボックス：2日現在累計416,000円

渡邊喜彦君（三条RC）本日は北RCの斎藤 正さんに命令を頂き喜んで卓話をお受けしました。

しかし受けてから反省、悔やみの毎日でしたがとうとう今日が来てしまいました。どうか、話しベタな私ですが宜しくお願い致します。ささやかですが、BOXに協力して。

山中 正君 渡邊会長さん本日の卓話宜しくお願いします。

笹原 壯玄君 仲秋の名月も久しぶりに清々しく輝いて心洗われる思いでした。本日は渡邊会長ご指導宜しくお願い致します。

斎藤 正君 マルソー会長 渡邊さん超ご多忙のところ卓話にお見え頂き誠にありがとうございますございました。

齊藤 興一君 マルソー会長様、卓話期待しています。

梨木 建夫君 阿部さんに敬意を表して。マルソー会長、渡邊さんの卓話に期待申し上げて。

本間建雄美君 10月職業奉仕月間です。卓話を楽しみにしておりました。大変お忙しい中、本日は宜しくお願い致します。

佐藤 義英君 渡邊さん卓話ご苦労様です！！

落合 益夫君 渡邊様、卓話ご苦労さまです。

中條 耕二君 株式会社マルソー会長の渡邊喜彦様の卓話を心から歓迎し感謝しております。

刈岡 茂君 渡邊様、卓話ありがとうございます。

青木 省一君 BOX協力

丸山 達夫君 ボックスに協力

小林 満君 //

山口 龍二君 //

大橋 政雄君 //

駒形 実君 //

阿部 勝子君 渡邊様の卓話楽しみにしておりました。どうぞ宜しくお願い致します。

* 9月のコメント賞は小林 満会員です。

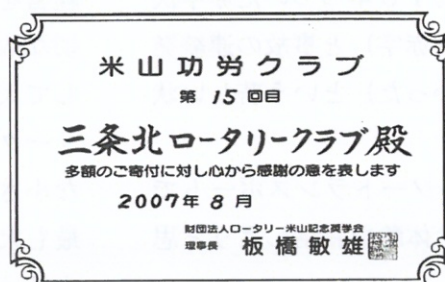
米山奨学ボックス

中條 耕二君 毎月積み立て分です

山本 賢君 9/29「米山奨学委員長セミナー」に参加してきました。

2560地区57クラブで三条北RCは1番でした。

参考までに2600地区の諏訪RCは会員数56名で1人平均80,678円です



卓 話

マルソー株式会社 会長 渡邊喜彦様

「職業奉仕月間に因んで」



職業奉仕こそロータリーの
原点であると思っています。
職業奉仕無くして社会奉仕は
無い。と思っています。

人はお金が無くても社会奉仕
はできます。しかし自分の事業を経営している
とすれば、その企業の繁栄があつてこそ、大きな
社会奉仕が可能になるのではと思っています。
今日はせっかくのお招きですので私の事業経営
の考え、つまり経営の理念といいますか、事業
とはこうあるべきと思っていることと実際に実践
した体験の1つを通しての考え方をお話したい
と思います。

弊社、マルソー(株)は大正2年に創業し来年
95年目を迎えます。昨年9月20日の決算時
でマルソー(株)本体が社員数257名、売り上
げ48億8千6百万円、グループ全体で社員数
558名、売り上げ68億円でした。

事業体は3年前まで3事業体に分け三位一体の
経営を進めてきました。

1つは3PLを主体とした高度物流の企画開発
とその運営としてのロジテック事業部。2つめ
は倉庫・物流センター業務を通したCDC事業
部。3つめは創業以来行ってきた、物流事業。
特に鉄骨、鋼材の輸送、コンクリート二次製品、
建築資材などの輸送・・・主にトレーラー・平
ボデーといわれる車両をもとにした事業、運輸
事業部の3つです。

その3つめの事業部が約10年つづいた赤字決
算(年間毎年約3千万の赤字)と事故の連続発
生(事故の無い月が無かった)という苦しい状
態でした。

現在、旧栄町の(株)マルソートランスポー
トです。この事業部の改善の体験をお話しよう
と思っています。

なにをやってもどうにもならず、自分も一緒

やらなくてはいけないと気づき妻にも話し一
緒にやりました。

- ・運転手は出発したらしっばなしだったが社員
に夜の宿直を頼み、夜10時から2時まで全
員に連絡を取る
- ・小さな袋(ガムや飴を入れた)を用意し出か
けるときに渡しました。その中にはメモを入
れました(〇〇〇さん、子供が待っている、
奥さんが待っている。無事に帰るようにしよ
う、等それぞれの社員にあわせて)これは安
全運転に繋がりました。

取り組んだ初年度に利益は約1千5百万円を達
成、3年目を迎える今年の決算は約3千万の黒
字計上です。

「数字は人が創るもの」「企業は人が経営するも
の」だからどんなに技術や数字だけを計算して
もだめです。まずは人づくりから社員の教育の
徹底、質の向上。感謝の心を持つこと。ありが
たい・・・という心。この心があれば全て解決
する。運転も車両の取り扱いも、荷物の取り扱
いも家庭での生活もそして当たり前と思ってい
る自然の恵み(空気、水)に対しても。又成功
の喜びがあれば前進できる。

私が会社を挙げて勉強している倫理の勉強のペ
ージに「勤労歓喜」という項があります。末尾
に掲載しますので是非読んでいただきたいと思います。

ロータリークラブは何を目的に。そしてそこに
居る我々ロータリアンはそれを踏まえてどう取
り組んで行くべきか。私は本日お話ししました
自分の身近に居る社員の一人一人を立派にそし
て人間的に大きく育て生きる自信を持った、強
く優しい人物として育てて行くことこそ、我々
経営を行っているロータリーメンバーの最も大
切な取り組みではないのかと思っています。そ
して大きな、派手な事業を行う事だけがロータ
リークラブの在り方ではないと思います。小さ
な小さな足元の自分の毎日の生活と仕事にこそ
最も大切な目標があるのではと思っています。
本日はお招きいただき、ご静聴ありがとうございました。